

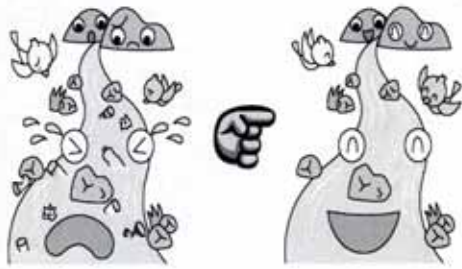
河川の水質を守るために

家庭から出る水を

きれいにしよう！

家庭から出る水は台所や洗濯機、お風呂の水が主です。何気なく流しに捨てた大さじ1杯の油を、魚がすめるような水に薄めるためには、浴槽の15杯分の水が必要と言われています。台所では天ぷら油などはそのまま流さないで、油こし紙などで拭き、食器などもキッチンペーパーなどで拭いたあとに洗います。また、流しには細かな食べ物かすを取りのぞくネットなどを取り付けることも必要です。洗濯機やお風呂場では、必要以上の洗剤や石けんを使わないことも、河川の水をきれいにするために必要なことです。

また、富士見町では、家庭から



出る水を河川に流さないように下水道の整備を進めています。別表7は下水道の接続率（どのくらいの人が下水道を使用しているかの割合）を示したのですが、平成14年には70%を超えています。今後も下水道の整備を進めますが、下水道を使用する人が増える

と、家庭から河川に流れ出る水も減るので、河川の水質はさらによりよくなるのが考えられます。

水の節約に心がけよう！

家庭から流れ出る水の量を少なくするためには、わたしたちが使う水の量を減らすことが大切です。必要以上の水を使ったり、水道の水を出しっぱなしにしないように心がけましょう。

ゴミなどを河川に捨ててはいけません！

よく河川にゴミなどが捨てられています。これが、これらのゴミも河川の水質を悪くする原因です。そして、中には人の体に害のある物質が含まれている場合もあります。また、見た目にも気持ちの良いものではありません。河川にゴミを捨てないことをしっかりと守る必要があります。

工場や店からの排水をきれいに

工場などから河川に流す水にはきびしい水質の基準が決められていて、しっかりと管理をしている工場などではきれいな水を流しています。しかし、中にはまだ十分に管理されていない工場や店もあり、汚れた排水をしっかりと処理する施設を設置しなければなりません。

家畜などの糞や尿を河川に流さない

家畜などの糞や尿が河川に流れ込むと、大腸菌などの数値が高くなって水質が悪くなってしまいます。これらの糞や尿が流れ出ないようにしっかりと管理することが必要です。また、犬などを散歩に連れ出したときには、必ず糞を持ち帰って、家のトイレに捨てることも必要です。

田畑などへの肥料や農薬の使用量を減らす

質の良い農作物を作ったり、病気や害虫から農作物を守るために、どうしても肥料や農薬は必要ですが、必要以上に肥料や農薬を使用しないように努力することで、河川の水をきれいにすることが期待できます。

自然の浄化（きれいな働き）を高める河川や水路の整備を行う

コンクリートで固められた河川や水路は、汚れた水をそのまま流してしまいます。これとは逆に、多くの植物が川辺や川底に育っている川や、小さな落差が続いている川は、植物が汚れのもとになる物質を吸収したり、落差によって水の中に酸素が溶け込んで、水の中の微生物やほかの生物を活発に活動させて、汚れのもとになる物質を分解するなど、自然に水がきれいになる働きが高いものです。このことから、現在、水路などでみられるコンクリートで固められた河川を対象に、川辺にヨシなどの植物を植えたり、川底に自然の石などを使って小さな落差を作るなどの整備を行うことで、自然の浄化を高めることが期待できます。

このほかにも、河川の水質を良くする方法はありますが、一番大切なのは、多くの人たちが「水をきれいにしよう！」と思う気持ちを持つことです。

【問い合わせは・・・】

建設課 生活環境係
☎ 62・9114
(有) 9114

※平成7年度に普及率が下がったのは、単独公共下水道が平成7年度より接続可能となり、平成8年度より接続したためです。

